

荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

近隣の小中学校による環境学習 川島町立 出丸小学校と上尾市立 太平中学校 科学部の皆さんが三ツ又沼ビオトープで荒川の自然に関する環境学習を行いました。

川島町立 出丸小学校 5年生・6年生

5年生にとっては初めての三ツ又沼ビオトープ。サポーターから三ツ又沼ビオトープが出来た経緯についてお話を聞きました(写真左)。6年生は2班に分かれて、木道をぐるりと一周。夏の三ツ又沼ビオトープの自然観察をしました(写真右)。



上尾市立 太平中学校 科学部

昨年度植えたハンノキが元気に育つよう、周りの草を取り除き、どれだけ大きくなっているかを知るために、木の高さや太さを調べました(写真左)。また、木道では網をもってトンボの調査を行いました(写真右)。



荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県産の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。
*外来植物：外国から日本に持ちこまれた植物



【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集！】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きの方、荒川が好きの方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています！



埼玉県立 いずみ高等学校 荒川の草花を育てようプロジェクト

昨年に引き続き、今年も埼玉県立いずみ高校の生物サイエンス科2年生の皆さんと在来植物^{※1}で外来植物^{※2}を抑えるために連携して実験を行うことになりました。

※1 在来植物：日本にもともと生えている植物 ※2 外来植物：外国から日本に持ちこまれた植物

6月18日(水)たねまき



この日は、三ツ又沼ビオトープや発芽・育成実験の意義について説明を受けた後、ヨモギとカントウヨメナという在来植物のたねをまきました。

6月25日(水)現地実験



今年度、在来植物による外来植物の抑制の効果を調べるために、三ツ又沼ビオトープでは、12区画の実験区をつくります。生徒の皆さんは、この実験区をつくるために、土を耕したり、外来植物を抜いたりしました。

8月21日(木)発表



日本学校農業クラブ連盟大会の関東地区大会において、生徒の皆さんが三ツ又沼ビオトープにおける地域在来種の発芽・育苗試験の取り組みについて発表しました。



埼玉県立 川越総合高校 保全管理作業の体験

7月25日(金)

生徒有志3名が保全管理作業に参加し、外来植物のオオブタクサやセイタカアワダチソウ（ともに北米原産）の抜き取りをしました。とても暑いなかの作業でしたが、抜き取った外来植物の重さを量ると、なんと62Kgもありました。(写真)

8月2日(土)

午前7時から生徒有志7人が保全管理作業に参加しました。荒川の自然を守ることの大切さと大変さを実感する機会となりました。



三ツ又沼ビオトープトピック キンミズヒキ

バラ科 花の咲く時期 8～9月 高さ 30～80cm

これから見ごろをむかえるキンミズヒキ。出丸小学校や太平中学校の子どもたちが参加している「荒川の草花を育てようプロジェクト」でも育てている在来の植物です。

小さな黄色の花をたくさん咲かせるので、三ツ又沼ビオトープを訪れる方は、ぜひ探してみてください。